

令和8年度 網走市宿泊税活用事業について

宿泊税によって確保した財源は、本市の観光振興と宿泊増強に寄与することを目的として、以下の3つの方向性に基づく施策に活用します。



地域資源の磨き上げ と魅力向上

食文化を活かしたコンテンツの充実や、各種イベントを通じた誘客促進等に使用します。



持続可能な観光地づくり

観光DXの推進及び観光人材の育成・確保等に使用します。



受入環境の充実

二次交通の充実や、宿泊施設及び公共施設等の受入環境整備支援等に使用します。



地域資源の磨き上げと魅力向上

体験型観光推進事業

- ・アドベンチャートラベルをはじめとした体験型観光を推進するための機能強化やコンテンツ造成等に対する支援。

網走「食のまち」プロジェクト推進事業

- ・「春カニ合戦」の開催日数を2日間に拡大することによる諸経費。
- ・カニまき増量や回数増、アトラクション構成変更など。

酒蔵ツーリズム推進事業

- ・新たに建設される酒蔵で醸造される地酒など、網走のお酒や食を核にした誘客促進、プロモーションを実施。





持続可能な観光地づくり



海外観光客誘致促進事業

- ・オホーツク網走マラソンをフックにした海外観光客の誘客を図るプロモーションの強化。

網走市観光協会補助金

- ・宿泊税を財源とする新規事業及び拡充事業を円滑に遂行するため、事業規模に見合った協会の体制づくり。
(常勤職員の増員)
- ・レンタサイクル事業の拡充。
(キャンペーンの実施、電動自転車の更新・増台)

地域DMO推進支援事業

- ・新規海外プロモーション（シンガポール・タイYouTuber招聘）支援。
- ・新規観光DX推進（飲食店の周遊促進）を支援

海外観光客インフォメーション事業

- ・JR網走駅のインバウンド利用が増加する冬期期間の観光案内体制強化。



持続可能な観光地づくり

観光動画制作事業

- ・主に海外観光客向けの誘客促進ツールとして観光PR動画を制作。

閑散期誘客促進事業

- ・観光客が減少する閑散期において、宿泊割引クーポンの配布や各種誘客促進事業への支援を実施。

ひがし北海道空港連携 海外観光客誘致事業

- ・ひがし北海道の自治体の航空会社などと連携した観光客誘致プロモーションの強化。

産業振興基金積立金

- ・機動的な需要喚起、災害時対策（財源の積立）





受入環境の充実

宿泊施設環境整備支援事業

・インバウンドの受入環境強化、災害対応強化、デジタル化、バリアフリー化、受入環境強化に向けた人材確保・育成、スポーツ合宿受入環境強化、宿泊施設の魅力向上に要する費用を支援。



タクシー配車アプリ導入事業補助金

・市内タクシー事業者の配車アプリ導入に対する支援。



デマンドバス観光利用事業補助金

・デマンドバス「どこバス」の車両増車と運行エリアを郊外観光地まで拡大。



宿泊税活用事業一覧

単位（千円）

用途の項目	事業名	事業費	宿泊税活用額
地域資源の磨き上げ と魅力向上	体験型観光推進事業補助金	9,000	9,000
	網走「食のまち」プロジェクト推進事業	5,480	2,480
	酒蔵ツーリズム推進事業	4,600	2,300
持続可能な観光地づ くり	海外観光客誘致促進事業	3,000	500
	網走市観光協会補助金	21,274	6,250
	地域DMO推進支援事業	24,416	2,738
	海外観光客インフォメーション事業	7,300	700
	観光動画制作事業	9,837	4,919
	ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業	1,800	500
	閑散期誘客促進事業	12,570	12,570
	産業振興基金積立金	12,406	3,510
受入環境の充実	宿泊施設環境整備支援事業	8,150	8,150
	タクシー配車アプリ導入事業補助金	1,843	1,843
	デマンドバス観光利用事業補助金	13,000	13,000
合 計		134,676	68,460